

# 環境報告書

活動期間

2018年1月～2018年12月

発行

2019年1月20日

株式会社 益生小型運送

# 1. 組織の概要

- (1) 事業所名 : 株式会社 益生小型運送
- (2) 代表者氏名 : 代表取締役 伊藤達也
- (3) 所在地 : 三重県四日市市中村町2416-7
- (4) 事業内容 : 産業廃棄物収集運搬業
- (5) 資本金 : 10,000,000円
- (6) 沿革 : 大正5年 伊藤與助商店創業  
昭和8年 益生タクシー開業  
昭和27年 株式会社益生小型運送設立  
昭和58年 廃棄物事業開始  
平成12年 四日市市に本社移転  
平成25年 岐阜県産業廃棄物収集運搬優良認定  
平成25年 愛知県産業廃棄物収集運搬優良認定  
平成27年 三重県産業廃棄物収集運搬優良認定  
平成28年 代表取締役社長に伊藤達也が就任
- (7) 事業の規模 : 売上高 6.5億円  
: 従業員数 40名(アルバイト10名含む)  
: 敷地面積 7,425㎡ 延床面積 792㎡

## (8) 許認可一覧

### ・産業廃棄物収集運搬許可番号

| 自治体名 | 許可の内容                              | 有効期間                        | 許可品目                                  |
|------|------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 三重県  | 産業廃棄物収集運搬業<br>許可番号 02402034212     | 平成27年9月20日 ~<br>平成34年9月19日  | 燃え殻、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず等 |
| 岐阜県  | 産業廃棄物収集運搬業<br>許可番号 02100034212     | 平成26年1月29日 ~<br>平成33年1月28日  | 燃え殻、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず等 |
| 愛知県  | 産業廃棄物収集運搬業<br>許可番号 02300034212     | 平成27年7月5日 ~<br>平成32年6月5日    | 燃え殻、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず等 |
| 三重県  | 特別管理産業廃棄物収集運搬業<br>許可番号 02452034212 | 平成27年12月18日 ~<br>平成34年12月6日 | 引火性廃油、腐食性廃酸                           |

### ・一般廃棄物収集運搬許可番号

| 許認可の事業     | 市町   | 許可番号   | 許可年月日     | 許可期限       |
|------------|------|--------|-----------|------------|
| 一般廃棄物収集運搬業 | 桑名市  | 第2号    | 平成30年4月1日 | 平成32年3月31日 |
| 一般廃棄物収集運搬業 | 四日市市 | 第019号  | 平成30年4月1日 | 平成32年3月31日 |
| 一般廃棄物収集運搬業 | いなべ市 | 第7号    | 平成30年4月1日 | 平成32年3月31日 |
| 一般廃棄物収集運搬業 | 鈴鹿市  | 第27号   | 平成30年4月1日 | 平成32年3月31日 |
| 一般廃棄物収集運搬業 | 菰野町  | 第36号   | 平成30年4月1日 | 平成32年3月31日 |
| 一般廃棄物収集運搬業 | 朝日町  | 第19号   | 平成30年4月1日 | 平成32年3月31日 |
| 一般廃棄物収集運搬業 | 川越町  | 第38号   | 平成30年4月1日 | 平成32年3月31日 |
| 一般廃棄物収集運搬業 | 東員町  | 第1096号 | 平成30年4月1日 | 平成32年3月31日 |

1) 産業廃棄物 収集運搬実績と車両(施設)の種類(車両形式・積載量)・台数

・処理実績

| 収集運搬実績   | 単位 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 |
|----------|----|--------|--------|--------|
| 産業廃棄物運搬量 | t  | 202.2  | 192.1  | 136.0  |
| 一般廃棄物運搬量 | t  | 821    | 810    | 805    |

※行政年度実績です。

・運搬車両の種類(車両形式・積載量)と台数

| 運搬車両一覧 |               |                  |           |       |
|--------|---------------|------------------|-----------|-------|
|        | 自動車登録番号       | 車両形式             | 最大積載量(kg) | 備考    |
| 1      | 三重 88 ま 5379  | 塵芥車              | 2,250kg   | 新(継)廃 |
| 2      | 三重 800 さ 8650 | 塵芥車              | 2,200kg   | 新(継)廃 |
| 3      | 三重 800 さ 3655 | 塵芥車              | 3,100kg   | 新(継)廃 |
| 4      | 三重 100 あ 5662 | キャブオーバ           | 2,000kg   | 新(継)廃 |
| 5      | 三重 100 せ 8022 | キャブオーバ           | 3,000kg   | 新(継)廃 |
| 6      | 三重 100 さ 1166 | 脱着装置付<br>コンテナ専用車 | 4,150kg   | 新(継)廃 |
| 7      | 三重 100 せ 8024 | バン               | 2,800kg   | 新(継)廃 |
| 8      | 三重 100 あ 8340 | キャブオーバ           | 3,600kg   | 新(継)廃 |
| 9      | 三重 100 す 5085 | キャブオーバ           | 2,000kg   | 新(継)廃 |
| 10     | 三重 100 あ 9191 | キャブオーバ           | 2,000kg   | 新(継)廃 |
| 11     | 三重 88 ま 1722  | 塵芥車              | 2,000kg   | 新(継)廃 |
| 12     | 三重 100 せ 8023 | バン               | 2,000kg   | 新(継)廃 |

・積替え保管施設 種類・保管条件  
積替え保管施設なし

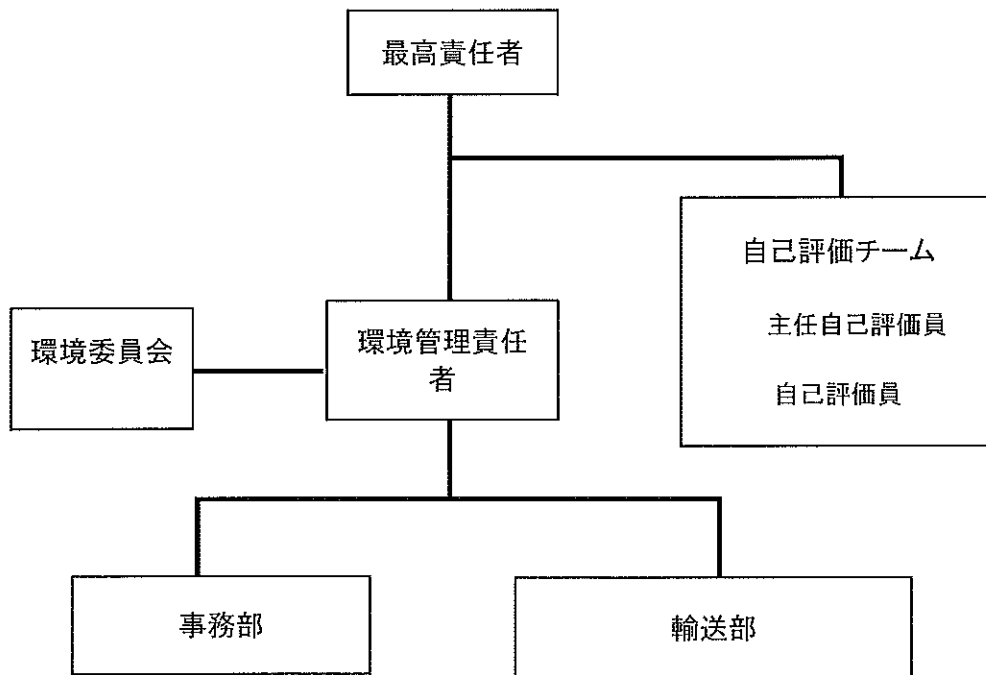
2) 中間処理施設の種類及び処理能力

- ・処理施設なし
- ・処理実績なし(中間処理)
- ・収集運搬のみの為、処理工程図はありません。

(9) 廃棄物の処理料金

運搬距離・廃棄物内容・回収形態等により、都度見積りをおこなう。

(10) 環境活動の取組体制



環境管理責任者 : 伊藤達也

担当者連絡先 : 伊藤達也 ( TEL059-364-7611 FAX059-364-6542 )

## 2. 登録対象

### (1) 登録内容

M-EMS 登録証

登録日:2017年3月1日

登録期限:2020年2月29日

登録番号:M-EMS2W-0014 KES2W-5-0014

### (2) 登録範囲

運輸業、廃棄物収集運搬業、引越サービス

### (3) 対象事業所

本社・事務所

三重県四日市市中村町2416-7

### 3. 環境宣言

## 環 境 宣 言

### 基本理念

株式会社益生小型運送は、地域及び地球規模での環境保全の重要性を深く認識し、企業活動における環境との関わりを評価し、全組織を挙げて、環境調和型社会の実現に努力します。

### 方針

株式会社益生小型運送は、一般貨物輸送、引越サービス、産業廃棄物(特管も含む)の収集運搬業等に係る全ての活動、製品及びサービスの環境影響を改善するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。  
なお環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境関連の法的要求事項、及び当社が合意するその他の環境要求事項を順守すると共に、関連する社会要求を尊重します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境影響項目のうち、次の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
  - (1)社会貢献
  - (2)産業廃棄物収集運搬の改善
  - (3)事務用紙使用量の削減
  - (4)エコ製品購入の推進
  - (5)会社周辺の清掃等啓発活動
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。
5. 三重県及び四日市市の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し、環境マネジメントシステムを推進します。

制定日 2014年 10月 1日

改訂日 2017年 1月 1日

株式会社益生小型運送  
代表取締役社長 伊藤 達也

#### 4. 環境改善目標

- ・ 3年間の削減計画及び実績  
(基準年度:2016年度)

| No | 環境改善目標                   | 単位  | 2016年度<br>実績 | 目標値／実績 |        |        |
|----|--------------------------|-----|--------------|--------|--------|--------|
|    |                          |     |              | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
| 1  | 社会貢献活動 (1回/月)            | 回/年 | 12           | 12     | 12     | 12     |
|    |                          |     |              | 12     | 12     |        |
| 2  | 産廃収集運搬の改善 (乗務員研修1回/月)    | 回/年 | 12           | 12     | 12     | 12     |
|    |                          |     |              | 12     | 12     |        |
| 3  | 事務用紙使用量の削減(2019年度:1.8%減) | 枚/年 | 38,379       | 38,000 | 37,803 | 37,688 |
|    |                          |     |              | 37,555 | 37,221 |        |
| 4  | エコ製品購入の推進 (5個/3ヶ月)       | 個/年 | 20           | 20     | 20     | 20     |
|    |                          |     |              | 20     | 20     |        |
| 5  | 会社周辺の清掃活動 (1回/月)         | 回/年 | 12           | 12     | 12     | 12     |
|    |                          |     |              | 12     | 12     |        |

※ 電力使用量と軽油使用量の削減は、以前目標として挙げていたが、ある程度の成果がありましたので、管理項目として引き続き削減努力は意識して参ります。

※ 総排出量(水の使用量)は、生活排水のみのため改善目標から除外したが、管理項目として取り上げ、節水を心がけ、その削減に努めていきます。

※ グリーン購入においては、事務用品をメインに購入品目の増加に努めます。

※ 自社廃棄物は、少量(一般廃棄物として20kg/月、産廃はなし)ですが、削減に努めます。

※ 化学物質においては、その使用実績がありません。

※ 受託した廃棄物の排出量に関しては、排出者に再資源化・リサイクル等を促す努力を行って参ります。

## 5. 環境改善目標と実績

### 2018年度 環境改善活動実績

| No | 環境改善目標                         | 具体的施策                    | 項目            | 単位  | 目標値    | 実績値    | 評価 |
|----|--------------------------------|--------------------------|---------------|-----|--------|--------|----|
| 1  | 社会貢献活動に<br>毎月1回は取り組む           | ・中学生の職場体験<br>・地域事業への積極参加 | 活動回数          | 回/年 | 12     | 12     | A  |
| 2  | 産業廃棄物収集<br>乗務員社員研修を<br>毎月1回は行う | ・廃棄物の飛散防止<br>・マナー教育      | 研修回数          | 回/年 | 12     | 12     | A  |
| 3  | 事務用紙使用量の削減<br>(基準年度比:1.3%減)    | ・裏面の再利用<br>・メールの活用       | 事務用紙使用量       | 枚/年 | 37,803 | 37,221 | A  |
| 4  | エコ製品の購入<br>(5個/3ヶ月)            | ・エコ製品の調査<br>・文具の計画購入     | エコ製品の購入<br>個数 | 個/年 | 20     | 20     | A  |
| 5  | 会社周辺の清掃<br>(1回/月)              | ・会社周辺及び付近の清掃             | 清掃回数          | 回/年 | 12     | 12     | A  |

評価記号 A:良好(100%以上) B:やや不足(90~100%) C:不適合(90%以下)

### 2018年度 CO<sub>2</sub>実績

| 項目           | 単位                    | 使用実績    |
|--------------|-----------------------|---------|
| 電力使用量        | kWh/年                 | 22,200  |
|              | kg—CO <sub>2</sub> /年 | 10,967  |
| 自動車燃料使用量(軽油) | ℓ/年                   | 94,487  |
|              | kg—CO <sub>2</sub> /年 | 243,776 |
| 二酸化炭素排出量(合計) | kg—CO <sub>2</sub> /年 | 254,743 |

排出係数 : 中部電力0.494kg—CO<sub>2</sub>/kWh(2014年度実績) 軽油 2.58 kg—CO<sub>2</sub>/ℓ

出典:2014年(H26年)環境省より

### 2018年度 管理項目での実績

| No | 管理項目での実績        | 具体的施策                      | 項目           | 単位                | 実績値    |
|----|-----------------|----------------------------|--------------|-------------------|--------|
| 1  | 電力使用量の削減        | ・エアコン温度の適正管理<br>・不要な照明の消灯  | 電気使用量        | kWh/年             | 22,200 |
| 2  | 自動車燃料使用量の削減(軽油) | ・エコドライブの励行<br>・急加速、急発進の防止  | 自動車<br>燃料使用量 | ℓ/年               | 94487  |
| 3  | 水の使用量の削減        | ・洗車時の節水励行<br>(水の出しっぱなしの排除) | 水使用量         | m <sup>3</sup> /年 | 523    |
| 4  | 自社廃棄物の削減        | 紙の再利用                      | 一般廃棄物<br>排出量 | kg/年              | 240    |

#### 5-1. 具体的環境活動の評価

##### 1. 環境改善目標

(1)社会貢献活動は、毎月地域事業に参加している他に地元中学生の職場体験を実施しています。

目標は達成されており、継続していくことが大切だと考えます。

(2)産業廃棄物収集乗務員研修を毎月1回開催することで車輛事故が減り、接客マナーも高まったと評価します。

(3)事務用紙使用量の削減は、102%で目標達成。個々人が裏面使用の印刷でよいものを判断するなど意識改革が浸透してきている結果であると評価しています。



- (4) エコ製品の購入は、100%で目標達成。事務用品購入時にはエコ商品カタログでエコ製品を確認し、購入しています。
- (5) 会社周辺の清掃 従業員の清掃活動への意識改革が進んでいると評価しています。

## 2. 管理項目

- (1) 電力使用量の削減については、社員の意識も定着化しており節電に繋がっています。
- (2) 自動車燃料使用量の削減については、収集運搬車乗務員の教育によりエコドライブの励行により省エネに繋がっています。
- (3) 水使用量の削減については、洗車の水の出しっぱなしで作業するなど無駄が多かったが、作業方法を標準化し指導を徹底した。各自節水を心掛けるようになり大幅に使用量の削減に繋がりました。

## 3. 二酸化炭素排出量の削減

地球温暖化の要因である二酸化炭素について、従業員の排出量削減意欲は高まっていると評価しています。

## 5-2. 2019年度活動についての今後の課題

全ての活動において、基準・改善を施し大きな削減成果を得ました。

2019年度も引き続き、各人の環境に対する意識をより一層高め今後も継続できる仕組みづくりを社内で検討していきたいと考えます。

## 6. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、評価の結果違反はありません。

関係機関等からの指摘・苦情・訴訟はありません。

## 7. 代表者による全体の評価見直し結果

### 7-1. 全体評価

2018年度環境改善目標は全て達成することができ、環境マネジメントシステムは一般的にスムーズに運用され、現時点見直す点はない。

2019年度もこのシステムを継続し、環境負荷低減に向けて推進すること。

### 7-2. 見直し評価

環境宣言の変更必要性 :

環境改善目標の変更はせずに、環境宣言も同様に引き続き積極的に取り組みたい。

環境改善活動及び環境経営システム等の変更の必要性 :

引き続き環境改善目標を含め、全目標達成に向けて努力すること。

以上